

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 31 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '屋外広告物許可事務' and '住環境の整備と景観形成'.

Table (1) 事務事業の概要. Columns: ①事務事業の概要, ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on permit processing and consultation.

Table (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移. Multiple columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥各指標. Includes data for '屋外広告物' and '苦情件数'.

Table (3) 投入量(事業費)の推移. Columns for 29年度, 30年度, 01年度, and 期間限定総投入量. Includes sub-rows for 事業費 and 正規職員従事人数.

Table for 事業費の内訳. Columns for 30年度事業費実績(千円) and 01年度事業費予算(千円). Includes a '合計' row.

Table (4) 当該年度の実施内容. Columns for 01年度, 02年度, and 03年度の事業内容. Includes a list of main activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	屋外広告物許可事務	事務事業No.	50203000778	所属課	都市整備課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

県事務処理特例条例の施行に伴い、平成12年4月1日から開始された。近年、屋外広告物の許可件数は若干減少してきている。また、平成27年2月15日に北海道札幌市で発生した看板落下事故を受けて、このような事故の未然防止の観点から国及び県より依頼があり屋外広告物安全管理についての調査を実施。全国的にも安全点検等による管理面強化の動きが高まっている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

屋外広告物業者からは、許可基準の緩和を求める意見が寄せられている。一方、貼り札等の違反広告物が多い地域からは、これらを是正してほしいとの要望が寄せられている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	当市は、景観団体になっており、政策体系との整合は図られています。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	県事務処理特例条例で市の事務事業と規定されているものを対象としており、妥当です。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	更新されていない広告物所有者に対し、広告物の有無の確認行為を実施しても良いと思われます。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	県事務処理特例条例で市の事務事業と規定されており、また、景観計画が策定されていない状況下での廃止に係る影響は、計り知れないと思います。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	現時点としては「余地が無い」が、景観条例の策定と同時に連携の検討が必要と思われます。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	許可事務の処理については、ある一定以上の経験と裁量が伴うので、現状のままの形態を維持します。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	事務処理に係る手数料の徴収を行なっているので、公正・公平であると言えます。しかし手数料の目的と根拠を明確になれば、より公正・公平になると思われます。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																									
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	当該事務事業は、県事務処理特例条例で市の事務事業と規定されており、「快適で潤いのある生活環境づくり」の実現を図る上で不可欠なものであると思われます。しかし、程度な効率性と有効性のバランスを考えた事業展開が望まれます。																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																									
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持		○																								
	低下																										
			(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	⑥																								
		コスト削減優先度評価結果	-																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>